

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年1月21日

責任者	国際学研究科委員長	作成部局	国際学研究科
-----	-----------	------	--------

A-1	国際学研究科の理念		変更の有無
	<p>本研究科は、多様な文化・価値観が共存する国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる地域的・地球的課題を人文・社会科学的に分析し、解決策を講じることを教育・研究上の理念・目的とし、その課題の解決に貢献することのできる高度な専門的職業人・研究者などの知的人材を育成する。</p> <p style="text-align: right;">(Webサイト)</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
A-2	国際学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	国際学研究科の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>多様な文化・価値観が共存する現実の中で、国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる様々な地域的・地球的課題を分析し、解決策を講じるためには、歴史的・地域的に形成されてきた多様な文化・価値観、それに基づく社会ガバナンス構造、そしてその制度的枠組みとの相互作用の中で繰り上げられる経済経営行動を横断的に理解・分析する能力、それに基づいて各課題の解決策を提案・実践する能力、およびそれらの成果を分析・評価する能力をもつ人材が必要である。</p> <p>よって国際学研究科は、多様な文化・価値観が共存する国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる地域的・地球的課題を人文・社会科学的に分析し、解決策を講じることを教育・研究上の理念・目的とし、その課題の解決に貢献することのできる高度な専門的職業人・研究者などの知的人材を育成する。</p>	左に同じ。	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
	めざす学生像		変更の有無
	国際社会の諸課題は日々変化し続けるので、グローバルな視野に立って、これらの問題を発見・解決する能力・知識を獲得すべく、自ら生涯にわたって勉強し続けるグローバルな知的好奇心を持った学生。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)		変更の有無
	<p>本研究科は、国際学研究科の教育・研究上の理念・目的に基づき、文化、社会・ガバナンス、および経済・経営の3つの専門領域に基づく、2つの地域別研究コース(北米研究およびアジア研究)と、地域間や地域を越えた地球規模の研究を行うグローバル研究コースを設けます。</p> <p>博士課程前期課程においては、3つの専門領域のうち、研究課題との関連性の高い、少なくとも2つの領域を学習し、研究視野を広げることを通じて専門性を高めること、また、国際標準語としての英語総合力、とくに英語による対話力を培います。修士論文作成にあたっては、研究課題周辺の先行研究を十分に踏まえ、既存研究に新たな発見・知見を加え、広く国際社会に発信できるような成果をあげます。</p> <p>博士課程後期課程においては、博士課程前期課程の履修成果をさらに進め、学際的視野をもちつつ、より高度な専門性と研究者としての自立性を確立します。その上でさらに、他の専門領域研究者やフィールドあるいは市民に対して研究課題のフロンティアを周知させ、また、そこからフィードバックを受容することのできる発信力と対話力を身につけた研究者を養成します。</p> <p>本研究科就任予定の専任教員は各々、「国際」を切り口に、文化、社会・ガバナンス、および経済・経営の各領域に含まれる人文・社会科学の様々な専門分野に基づいて研究を行っており、本研究科内にて専門領域を跨る共同研究、研究会などを通じて、研究面での相乗効果が期待できます。</p> <p>学生は、その専門領域を縦軸とし、北米研究コース、アジア研究コースおよびグローバル研究コースを横軸として、横断的、学際的に研究することにより成果をあげます。本研究科では、このような教育・研究アプローチを「国際学」と呼びます。</p> <p>以上の教育・研究から、修士(国際学)(英文名称:Master of Arts in International Studies)、博士(国際学)(英文名称:Doctor of Philosophy in International Studies)の学位を授与します。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート

作成日：2016年1月21日

責任者	国際学研究科委員長	作成部局	国際学研究科
-----	-----------	------	--------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>国際学研究科は、多様な文化・価値観が共存する国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる地域的・地球的課題を人文・社会科学的に分析し、解決策を講じることを教育・研究上の理念・目的とし、その課題の解決に貢献することのできる高度な専門的職業人・研究者などの知的人材を育成します。以上を踏まえ、以下のようなアドミッションポリシーの下に優れた学生を選抜します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 国際社会において歴史的・地域的に形成されてきた多様な文化・価値観、それに基づく社会ガバナンス構造、そしてその制度的枠組との相互作用の中で繰り広げられる経済経営行動を横断的に理解することに強い関心を持ち、かつそれを人文・社会科学的に分析する能力をもつ者。 以上の理解と分析能力に基づいて、国際社会とそのガバナンス構造の変容に関わる地域的・地球的課題の解決策を提案し、それを実践する意欲と、それを国際社会で実現するための、高い語学力・対話力・発信力をもつことが期待される者。 文化領域を主な専門領域として希望する場合は、比較文化論、文化人類学、英米文学、哲学・思想を、社会・ガバナンス領域を主な専門領域として希望する場合は、国際関係論、政治学、法学、国際法、国際社会論を、経済・経営領域を主な専門領域として希望する場合は、経済学、経営学、会計学、以上のいずれかを原則として既習している者。 	<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認する。
	決定・判断時期	毎年4月
	検証エビデンス	研究会委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	毎年3月の自己点検評価委員会(コンピーナ:研究科委員長)において、定性的定量的データに基づき検証する。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり(内容:毎年4月の研究科委員会における決裁・承認に反映される。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	自己点検評価委員会議事録
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年1月21日

責任者	国際学研究科委員長	作成部局	国際学研究科
-----	-----------	------	--------

A-6 学生支援に関する方針		変更の有無
少人数の研究科であるので、まず演習担当教員(指導教員)がアドバイザーとして学生の相談にのり、問題があれば研究科執行部にすぐに連絡をするように努めている。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
修学支援	春学期が始まって1ヵ月後に、研究科執行部が学生の悩み・不満・要望を聞く機会を設けている。経済学など必要に応じて他の研究科の科目履修を勧める。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
生活支援	全学共通の奨学金を紹介している。研究科独自の奨学金はないが、学生数が少ないのでベーツ特別支給奨学金など獲得できる確率が高い。教学補佐のアルバイトを提供しているが、これも学生数が少ないので希望者はほぼ全員が採用されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
進路支援	キャリアセンター職員と研究科執行部ならびに演習担当(指導)教員が連携を密にしている。演習担当教員が学生の就職希望について相談に乗る。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 (下記のことが明らかであることに留意する。) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><修学支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	学部長室委員会での審議を経て、毎年4月の研究科委員会において決裁・承認する。
	決定・判断時期	毎年4月
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	毎年3月の自己点検評価委員会(コンピーナ:研究科委員長)において、定性的定量的データに基づき検証する。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり(内容:毎年4月の研究科委員会における決裁・承認に反映される。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	自己点検評価委員会議事録
周知・公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

